

## 平成26年度 事業報告書

公益財団法人佐世保市体育協会は、定款に基づき、佐世保市民のアマチュアスポーツの統一組織としてスポーツを振興し、市民の体位、体力の向上を図り、スポーツ精神を養い、社会体育の発展に寄与することを目的として各種事業を推進しました。

平成26年度は、長崎県において45年ぶりに2巡目となる第69回国民体育大会「長崎がんばらんば国体」及び本県初開催となった第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」が開催され、佐世保市でもアーチェリー、空手道、自転車競技、ソフトテニス、軟式野球、バレーボール少年女子、ハンドボール、ホッケーの8種目の国体競技とバレーボール(精神)、アーチェリー(身体)の2種目の大会競技が行われました。各競技において長崎県勢の目覚ましい活躍が目立つ大会となり、国体競技で長崎県は、天皇杯は第1位を、皇后杯は第2位を勝ち取ることができました。

佐世保市体育協会としましても、市の支援を受けジュニア層強化事業、指導者育成事業等、事業を推進してきましたが、一定の成果があったものと考えております。また、スポーツ施設の管理・運営におきましても、大きな問題もなく安全で快適な施設の提供ができたものと確信しております。

### 1. 体育施設等管理運営業務について

#### (1) 市及び県の指定管理者として法令等の遵守

業務を通じた情報の守秘義務及び個人情報の保護については、関連する法令や条例及び施行規則等を遵守し、当協会規程・規則等に基づき対応しました。

#### (2) 安全で快適な施設の提供及び効率的な施設の運営

- ① 原則、年末年始(12/29～1/3)を除き開館しました。なお、施設の改修・点検及び職員の研修等で休館が必要な場合は、事前に市民にお知らせをし、県や市の許可を得て閉館しました。
- ② 利用者のモニタリングや競技団体、地域の方々の意見を検証しながら、施設の管理運営を行いました。
- ③ 日程調整会や予約管理システムを活用しながら公平・公正な施設の提供に努めました。
- ④ 施設や器具の安全点検を定期的に行い、危険箇所や不備の点については、迅速に対応し事故の防止に努めました。また、大型備品の整備や施設改善等についても、県や市へ報告し情報の共有に努めました。
- ⑤ 職員の資質や管理・運営技術の向上を図るため、事業方針説明会、普通救命講習や人材育成研修等を実施しました。また、業務に必要な体育施設管理士や体育施設運営士等の資格を取得させるため、職員を講習会等に派遣しました。
- ⑥ 複数の管理施設を一体的に管理運営を行うことにより、効率的な運営に努めました。
- ⑦ 節電や節水を推進し、環境に配慮した施設運営に努めました。
- ⑧ 指定管理者として認められている業務(清掃、警備、保守点検等)については、外部に委託することで管理運営の効率化に努めました。

(3) 利用料金の設定

佐世保市の体育施設条例及び規則に基づく利用料金体系を適用しました。

(4) 地域のニーズ及び体育協会に加盟する競技団体等と連携した施設の活用

県民スポーツ月間（11月）で加盟競技団体である柔道協会と連携し、小学生を対象とした無料講習会を開催しました。また、多くの種目を体験できる親子ふれあいスポーツ教室や市民体力測定会等も競技団体協力のもとに実施しました。

(5) 管理運営施設

当財団が管理運営した施設は、以下のとおりですが、業務の遂行にあたっては、①施設の安全確認の徹底、②危機管理の徹底、③芝生管理の徹底の3つを重点項目として取り組みました。

① 佐世保市体育施設

- ア. 佐世保市体育文化館（体育館、コミュニティセンター、駐車場）
- イ. 佐世保市総合グラウンド（陸上競技場、野球場、体育館、運動広場、庭球場、プール、アーチェリー競技場、ゲートボール場）
- ウ. 佐世保市温水プール
- エ. 佐世保市東部スポーツ広場（ラグビーサッカー場、ソフトボール場、ゲートボール場、体育館）
- オ. 佐世保市北部ふれあいスポーツ広場（多目的運動広場、テニスコート、ゲートボール場）
- カ. 佐世保市小佐々地区体育施設（スポーツセンター、海洋センター、海洋スポーツ基地、中央運動広場、大悲観グラウンド、大悲観テニスコート）

② 長崎県体育施設

- ア. 長崎県立武道館
- イ. 長崎県立総合体育館県北トレーニング室
- ウ. 海洋スポーツ基地カヤックセンター

③ 学校運動場照明施設の受託

- ア. 春日小学校
- イ. 清水中学校
- ウ. 福石中学校
- エ. 早岐中学校

④ その他受託施設

新公園テニスコート（光月町）

2. 体育協会組織の活性化について

(1) 競技部会

加盟団体規程第10条に規定している本市のスポーツ振興に資するため、年3回（4月、7月、3月）競技部会を開催しました。

なお、競技部会は協会理事6名および競技団体代表者33名で構成されております。

- 【主な協議内容】 ・事業計画、事業報告について  
 ・各委員会の報告について

(2) 専門委員会

競技部会員が以下の3つの委員会に分かれ、それぞれ協議を行いました。

① 総務委員会

本委員会は部会が実施する事業に関し、総合的調整を行い、部会の円滑な事業の実施を図ることを目的に、3回（4月、7月、1月）開催しました。

② 競技力向上・医科学委員会

本委員会は、本市における競技力の向上及び指導者の資質向上を図るとともに、スポーツ医科学の見地からスポーツの振興を目的とした委員会であり、2回（4月、12月）開催しました。

③ 生涯スポーツ委員会

本委員会は、本市における生涯スポーツ並びに地域スポーツの普及・振興を図ることを目的としており、1回（5月）開催しました。

3. スポーツ振興の企画・運営について

(1) 生涯スポーツの普及・振興

生涯スポーツの普及・振興については、スポーツ教室24教室、スポーツイベント4回、体力測定会3回を管理施設の空き時間を活用し、各加盟団体等と連携を行い企画開催しました。また、市内町内回覧や各小学校に募集ちらしを配布するなど広報に努め、スポーツの普及と発展を推進しました。参加者は、806人と前年度の1,094人を下回りました。減の要因は、前年度にがんばらんば国体の広報を兼ね、国体推進室と共同で開催した親子ふれあいスポーツ教室の開催日数の減であります。参加実績等については、以下のとおりです。

① スポーツ教室 24教室 523人 ※（ ）の人数は募集定員

《総合グラウンド》

ア. ピラティス教室	通年	9人(20人)
イ. かけっこ教室	2期	105人(120人)
ウ. キッズサッカー教室(U-6)	1日	28人(100人)
エ. キッズサッカー教室(U-8)	1日	59人(100人)
オ. キッズテニス教室(高学年)	1期	27人(25人)
カ. キッズテニス教室(低学年)	1期	29人(25人)
キ. 初心者太極拳教室	通年	18人(20人)

《体育文化館》

ア. 太極拳教室	通年	7人(20人)
イ. チャレンジスポーツ塾	長期	19人(24人)

※夏季は小佐々海洋スポーツ基地で開催

ウ. キッズハンドボール教室	1期	13人(30人)
エ. キッズソフトバレーボール教室	1期	18人(30人)
オ. キッズバドミントン教室	1期	11人(30人)

《温水プール》		
ア. 初心者水泳教室	1期	3人(20人)
イ. エンジョイ水泳教室	通年	32人(30人)
ウ. 楽ラク水泳教室	通年	18人(15人)
《小佐々スポーツセンター》		
ア. 姿勢健康教室	通年	20人(20人)
《小佐々海洋センタープール》		
ア. 初心者水泳教室(幼児・小学生クラス)	長期	29人(30人)
イ. 初心者水泳教室(小学生クラス)	長期	25人(30人)
《小佐々海洋スポーツ基地》		
ア. チャレンジスポーツ塾	4日	(人数は体育文化館の同教室に含)
《長崎県立武道館》		
ア. 初心者ピラティス教室(月4回)	通年	12人(12人)
イ. 初心者ピラティス教室(月2回)	通年	6人(12人)
ウ. かんたんエアロ+ストレッチ	通年	7人(20人)
エ. 太極拳教室(入門クラス)	通年	18人(20人)
オ. 太極拳教室(初級クラス)	通年	10人(20人)
② スポーツイベント	4イベント	233人
《総合グラウンド》		
ア. 親子ふれあいスポーツ教室	1日	220人(なし)
《小佐々海洋スポーツ基地》		
ア. ふれあいカヌーツーリング	2日間	3人(11人) 子どものみ 1組(9組) 親子での参加
イ. 海のいきもの観察教室	1日	6人(20人)
《温水プール》		
ア. 水中ウォーキング教室体験会	1日	2人(14人)
③ 体力測定会	3回	50人
《総合グラウンド》		
ア. 市民体力測定会	1日	24人(40人)
《体育文化館》		
ア. 市民体力測定会	1日	15人(40人)
《東部スポーツ広場体育館》		
ア. 市民体力測定会	1日	11人(40人)

## (2) 競技力向上事業の推進

競技力向上については、佐世保市からの支援を得て、以下のとおりに執行しました。

- ① 優秀指導者育成事業として3競技団体(バスケットボール協会、ハンドボール協会、テニス協会)へ助成を行いました。
- ② ジュニア層の競技力向上事業として次の14競技団体へ助成を行いました。

- |               |             |             |
|---------------|-------------|-------------|
| (ア)バスケットボール協会 | (イ)ハンドボール協会 | (ウ)バドミントン協会 |
| (エ)ソフトテニス協会   | (オ)テニス協会    | (カ)サッカー協会   |
| (キ)卓球協会       | (ク)弓道連盟     | (ケ)水泳協会     |
| (コ)体操協会       | (サ)アーチェリー協会 | (シ)自転車競技連盟  |
| (ス)空手道連盟      | (セ)ボウリング協会  |             |

③ 特定競技選手強化事業として2団体（柔道協会、陸上競技協会）へ助成を行いました。

④ 城島健司スポーツ普及支援事業（市受託事業）

城島健司氏から佐世保市にスポーツ振興のために寄せられた寄附金を活用し、ジュニアを対象とした大会を開催する4競技団体（バレーボール協会、卓球協会、柔道協会、空手道連盟）へ助成を行いました。

⑤ 各種大会開催助成として、九州大会開催の1競技団体（アーチェリー協会）へ助成を行いました。

### (3) スポーツ医・科学の推進

スポーツ医・科学推進事業として、競技団体、小・中・高校の指導者やスポーツ少年団、総合型スポーツクラブ関係者、スポーツ推進委員等に参加を呼びかけ3月に「スポーツビジョン〜一瞬で見逃さない眼を作るスキルアップ術教えます〜」のテーマで外部講師を招聘し研修会を実施しました。（参加者55名）

### (4) 指導者育成事業

地域でのスポーツ活動を活性化させ、多様なニーズに応えられる指導者の育成や、大会運営に不可欠な審判の資格取得のため、6競技41人に助成を行いました。

- ① 公認スポーツ指導者育成・・・・・・・・・・ 34名
- ② 公認審判員資格取得・・・・・・・・・・ 7名

### (5) 体育協会表彰

佐世保市のスポーツ振興を図ることを目的にスポーツ功労者並びにスポーツにおいて優秀な成績をあげた個人及び団体の表彰を行っており、平成26年度も2月に表彰式を執り行いました。

審査はスポーツ表彰選考内規に基づき総務委員会で行いました。

今年度は、長崎がんばらんば国体が開催され、大会で活躍された本市出身の選手も多く、受賞者も大幅に増えました。

- ①体育功労賞 8名
- ②スポーツ優秀賞 個人：72名 団体：9団体
- ③体育優良団体 1団体

### (6) 広報活動事業

① 体協独自のスポーツ情報誌佐世保市体協だより「ダッシュ！！VOL.4」を13,000部作成し、町内回覧や体育施設、学校等へ配布を行って情報の提供に努めました。

② 佐世保市民スポーツ情報サイト「PLAY!」によりスポーツ教室、イベント案内、佐世保

市選手の活躍、地元国体選手の紹介など旬のスポーツ情報、公益法人として公開が不可欠な組織概要、事業計画並びに報告、財務諸表などの情報を広く発信しました。

また市スポーツ少年団・市スポーツ推進委員協議会・市スポーツ振興課と共同運営する「PLAY!」の企画・管理・運用を当協会が主体となり実施しております。年間アクセス件数は、約466,000件にのぼり、前年度より16,000件程増加しております。

- ③ 職員手作りの案内チラシを作成し、佐世保市内及び佐々町の小学校全児童へ配布を行い協会が実施しているスポーツ教室等の発信を行いました。（配布～4月・7月の2回）
- ④ 長崎がんばらんば国体及び長崎がんばらんば大会佐世保市実行委員会のバナー広告を無償掲載することで国体機運を盛りあげました。また、情報誌・ダッシュ！！にも国体ページを大きく掲載し多くの皆様の目に触れるよう努めました。

#### (7) スポーツ少年団事務局

加盟競技団体との連携や佐世保市スポーツ少年団本部及び指導者協議会事務局の円滑な運営を実施し、各種イベントに積極的に参加しました。

- ① 団及び団員の状況：22団、402人
- ② 指導者の状況：106人
- ③ 会議の開催：指導者協議会理事会を3回（5月、9月、12月）、総会を1回（5月）実施しました。

#### ④ 主な事業

ア. 市スポーツ少年団オリジナルシャツの販売

イ. 佐々・佐世保地区軟式野球交流大会

ウ. サマースポーツ交流会（平成26年8月10日：県立世知原少年自然の家で実施。

参加者 97名）

エ. ボランティア活動（平成26年11月15日：烏帽子スポーツの里周辺道路の清掃活動実施。参加者 112名）

オ. 市スポーツ少年団指導者研修会（平成27年1月24日：中部地区公民館にて実施。外部講師による「スポーツ栄養について」参加者 50名）

カ. 市スポーツ少年団表彰式・交流会（平成27年2月21日：長崎国際大学にて実施。参加者 254名）

キ. 県・九州競技別交流大会等派遣事業（のべ11団）

#### (8) 自主財源の確保

平成23年度から5ヶ年の事業計画をもとに始めた自主財源確保の取組について加盟競技団体、関係機関、取引企業、市民など多方面にご理解とご協力をお願いし、賛助会員を募りました。また、競技団体の協力を得て、物品販売や広告掲載依頼等を行い、自主財源の確保に努めました。

- ① 賛助会員                      法人：137団体                      個人：350名
- ② スポーツ表彰プログラム広告                      20件
- ③ 物品販売（そうめん）                      607個

- |                     |         |
|---------------------|---------|
| ④ ホームページバナー広告       | 1 件     |
| ⑤ 自動販売機設置           | 6 台     |
| ⑥ ライン用石灰（炭酸カルシウム）販売 | 7 1 4 袋 |

(9) その他

- ① 小柳賞佐世保シティロードレース大会実行委員会へ参画し、運営協力を行いました。
- ② 佐世保市中学校体育大会の運営協力を行いました。
- ③ 平成28年度に体育協会創立70周年を迎えるにあたり、記念事業等について加盟競技団体と継続して協議を行っています。
- ④ 公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド（B&G）財団事業として、県北地区剣道大会、ミニバレー・ナイター・リーグ、水辺の安全教室を開催しました。

4. 地域社会・教育活動等の支援について

- ① 市内中学校及び高等学校からのインターンシップ受入りに協力しました。  
実績：日野中学校、清峰高等学校、佐世保特別支援学校
- ② 市内学校勤務職員の社会貢献活動や社会体験研修の受入りに協力しました。  
実績：相浦小学校教諭